

事業番号④	事業シート（概要説明書）		令和7年度
事業名	農作物「大月ブランド」化育成支援事業		
予算事業名（細々目）	農作物「大月ブランド」化育成支援事業		
施策の大綱	誇りをもち笑顔で働けるまち	事業開始年度	令和4年度
施策体系	農林業の振興	部 名	産業建設部
主要施策	既存の農林業の持続と新たな可能性の模索	課 名	産業観光課
根拠法令等	農作物大月ブランド化育成支援事業助成金交付要綱	担当名	農林業担当
事務区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	作成者	鈴木唯一

○事務事業の計画

実施の背景		本市の農業は、典型的な中山間地農業であり、傾斜農地や小規模農地が多いため、効率的な農業を営むことや、安定した収入を得ることが難しい状況であることから、市内の農家の多くが兼業もしくは年金受給者であり、手間暇をかけて高収益作物を生産したいと考える農家が少ない。また、後継者不足も深刻で、今後も遊休農地が増えていくことが予想される。				
目 的 (何をどうしたいのか)		農業の担い手確保や農地の保全に努め、休耕地や遊休農地の活用を進めるため、農地の集積面積の増加や、法人への農地貸付を行うなどの支援をするとともに、大月市産の農作物の特産品化や販路拡大に取り組む団体への補助を行うことにより本市の農業全体の収益の向上を目指す				
事業概要	対 象 (誰・何を対象に)	市内農業団体（企業等は除く）（現在は3団体が対象）			対象者数（全住民に対する割合）	
					-	団体 (- %)
	実施方法	☐ 直接実施				
		☐ 業務委託 又は ☐ 指定管理 （委託先又は指定管理者： ）				
		☒ 補助金〔間接〕（補助先：大月玉ねぎ研究会他2団体 実施主体： ）				
	☐ 貸付（貸付先： ） ☐ その他（ ）					
事業内容 (手段、手法など)	事業内容（箇条書き）		事業費		活動指標	
	市内で栽培された農作物の付加価値を高め、「大月ブランド」として積極的な生産・販売に取り組む個人農業者等で構成される農業団体を育成支援することにより、農業所得の向上や雇用確保の実現、休耕地や遊休農地の活用促進を図る。 【事業案件】 ・販路先と共同で事業計画書を作成し、対象農作物の出荷・販売量を増加させる ・事業計画書の期間内で販路拡大など団体等の組織自立を目指す ・対象農作物または対象農作物の加工品をふるさと納税返礼品とするよう努める 【助成内容】（助成期間：上限5年） ・団体等運営経費 ：100,000円/年 ・生産拡大・販路拡大等経費 ：1,000,000円/年（限度額） ※対象作物の売上価格に50%を乗じた金額 ・新規加盟者補助 ：20,000円/1人1回限り 助成期間が最長5年間となっているため、期間内に団体は自立し、期間満了後は認定農業者の認定を受けてもらい、認定農業者等育成事業にて機械化や省力化の支援をしていく。					
関連事業 (同一目的事業等)		認定農業者等育成事業				

○事務事業の取組

		令和7 年度（予算）				令和6 年度（決算）				令和5 年度（決算）				令和4 年度（決算）				
コスト	事業費	事業費合計	1,800千円				784千円				691千円				288千円			
		事業費内訳 （令和6年度分）	支出内容				経費				支出内容				経費			
			負担金補助及び交付金 大月玉ねぎ研究会				459千円											
			負担金補助及び交付金 おおつきイモ類生産組合				220千円											
			負担金補助及び交付金 梁川自然栽培研究会（大麦）				105千円											
	人件費	正職員	0.2	人	1,363	千円	0.2	人	1,363	千円	0.2	人	1,372	千円	0.2	人	1,379	千円
会計年度任用職員			人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円	
人件費合計		0.2	人	1,363	千円	0.2	人	1,363	千円	0.2	人	1,372	千円	0.2	人	1,379	千円	
総事業費		3,163千円				2,147千円				2,063千円				1,667千円				

財源 内訳	国県支出金		千円		千円		千円		千円
	国県支出金の内容								
	地方債		千円		千円		千円		千円
	その他特財		千円		千円		千円		千円
	その他特財の内容								
	一般財源	3, 163	千円	2, 147	千円	2, 063	千円	1, 667	千円
財源合計		3, 163	千円	2, 147	千円	2, 063	千円	1, 667	千円
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）			単位	令和6 年度	令和5 年度	令和4 年度	
		農業団体数			団体	3	2	1	
		対象農産物等の販売額			千円	1,180	856	485	
		農業団体等に新たに加わるもの			人	11	16	0	
		農業団体加盟者数			人	45	34	18	
	単位当たりコスト	総事業費	／	対象者数	千円				

事業成果

成果目標 (指標設定理由等)	・ 農産物販売者の増加 ・ 農業所得の向上				
成果 (目標達成状況)	【成果指標名】（実績値/目標値）	単位	令和6 年度	令和5 年度	令和4 年度
	販売者1人当の販売収入	円	51,304	42,800	40,417
	販売者数	人	23	20	12
自己評価 課題 今後の方針 (事業の有効性、効率性、必要性の観点)	・ 令和4年度から6年度にかけて農産物を販売する団体数が増加している。 ・ 令和4年度から6年度にかけて農産物の販売額が増加している。 ・ 令和4年度から6年度にかけて農産物団体加盟者が増加している。 ・ 令和4年度から6年度にかけて農産物販売者数が微増している。 ・ 令和4年度から6年度にかけて販売者1人当たりの収入が増加している。 ・ 令和4年度の販売団体は1団体（大月玉ねぎ研究会） ・ 令和5年度の販売団体は2団体（大月玉ねぎ研究会・大月イモ類生産組合） ・ 令和6年度の販売団体は3団体（大月玉ねぎ研究会・大月イモ類生産組合・梁川地球自給研究所） ・ 玉ねぎの販売量は天候不順や伝染病の蔓延により急落するおそれがある。 ・ 農作物大月ブランド化育成支援事業助成金交付要綱により1団体の助成金交付期間が5力年と定め、玉ねぎ研究会の交付期間は令和4年度から8年度までとなる。助成金の交付が終了した後の団体の自立ができるのか危惧される。				
比較参考値 (類似事業例など)					
特記事項					

成果目標
(指標設定理由等)

- ・農産物販売者の増加
- ・農業所得の向上

成果
(達成状況)

【成果指標名】 (実績値/目標値)

单位

令和6 年度

令和5 年度

令和4 年度

販売者1人当の販売収入

7

51,304

42,800

40,417

販売者数

人

23

20

12

自己評価
課題
今後の方針

(事業の有効性、効率性、必要性の観点)

- ・令和4年度から6年度にかけて農産物を販売する団体数が増加している。
- ・令和4年度から6年度にかけて農産物の販売額が増加している。
- ・令和4年度から6年度にかけて農産物団体加盟者が増加している。
- ・令和4年度から6年度にかけて農産物販売者数が微増している。
- ・令和4年度から6年度にかけて販売者1人当たりの収入が増加している。
- ・令和4年度の販売団体は1団体（大月玉ねぎ研究会）
- ・令和5年度の販売団体は2団体（大月玉ねぎ研究会・大月イモ類生産組合）
- ・令和6年度の販売団体は3団体（大月玉ねぎ研究会・大月イモ類生産組合・梁川地球自給研究所）
- ・玉ねぎの販売量は天候不順や伝染病の蔓延により急落するおそれがある。
- ・農作物大月ブランド化育成支援事業助成金交付要綱により1団体の助成金交付期間が5カ年と定め、玉ねぎ研究会の交付期間は令和4年度から8年度までとなる。助成金の交付が終了した後の団体の自立ができるのか危惧される。

比較参考値
(類似事業例など)

特記事項